

子供たち家族の節目を迎えるにあたって



3人のお子様がいるS様。S様の長男家族に第一子が誕生し、次男家族、長女家族にもそれぞれ第一子が同時期に生まれるというお孫ちゃんラッシュ到来。娘さんは里帰りに備えて、息子さん達家族もいつでも遊びに来られるようにお孫ちゃんのお世話をしやすい環境を整えておきたい！！とリフォーム工事のご依頼をいただきました。今回は、そんな嬉しいお話をいただいたS様邸リフォーム工事にまつわるエピソードのご紹介です。

家族の団結

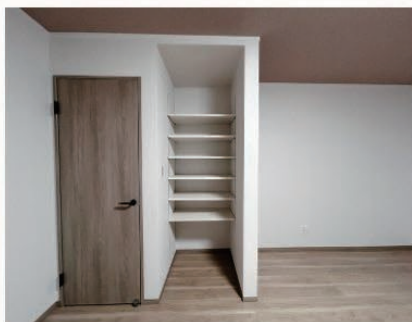


3人の子供部屋
片付け中 (before)



施主様のご要望は、「3つの子供部屋を2つの部屋に間取りを変えて一室の部屋を大きくし、複数の家族が泊まりに来ても対応できる空間にすること。収納スペースは限定して、部屋を広く使えるようにすることや湿気と寒さ対策。トイレや廊下の壁紙も新しくして心地よい空間を整えること。」でした。

今までは、この場所に住むことを目的に作られていた子供部屋だったので家具やモノが多いのは一般的です。このご家族のお部屋の印象は、学生時代の作品なども飾ってあったので、思い出を大事にされるご家族なんだろうな！と思いました。私もそうだったのですが、実家に思い出関連を保存したり、住んでいる場所に入りきらないアレコレは実家にお世話になりがちです。おそらくこちらのお宅もそういう部分もあったのかな？と想像しますが、解体期間前にお子さん達が率先して片付けられたエピソードも聞きました。ただ捨てるだけではなく、リサイクルや、買取に出されたりと・・・間に合わなかったお片付けは別のお部屋に避難して工事に挑まれました。新しい空間がみんなの為の場所だから、意を決して各々が行動できたのだと思います。たくさんのお思い出が詰まった場所を解体するのは寂しさもあるけれどご家族が団結して一つの目標に向かって協力する姿勢が素敵でした。



新たな家族のカタチ(after)

これからの空間に合わせた収納

この2つのお部屋はお子様家族が利用することを目的としており、一時的に必要なモノを必要な分だけ収納し、部屋を広く使えるようにとのご要望。お泊りに必要なお布団は扉がない分取り出しやすくしまいがたく、デッドスペースも軽減。見えるからこそ片付けて整理整頓を心がけたいとのことでした。小さなお子様がいるお宅で特に注意したいことは「重たいものが落ちてこない、覆いかぶさる物が赤ちゃんエリアに落ちてこない、口に入るサイズの細かい物を手の届く場所に置かない。」は安全を守る上で重要です。また、おむつ替えに必要なモノを1セットにして収納すれば、1つのアクションで必要なものがそろい、色々な場所を探さずに済むメリットがあります。収納ケースは空き箱を代用すれば、あるものでお試しできそうです。収納の小話でした。

この記事を作成している間に、お二人のママさんが無事に出産され、里帰り中でした。「お産や子育てって大変ですね。何人も生んでいるお母さん達を尊敬する。」というママのお話を伺いました。産後は色々敏感に感じやすい時期、精神的にも身体的にも思い通りにいかない時期だからこそ、旦那さんや実家に頼れる環境を作ってくれたご両親の肩を借りてゆっくりしながら、今しか味わえないこの時期を大事にお過ごしください。お産に個人差があるようにお世話に慣れるまでも個人差があります。色々なことを心配して今回の工事を考えてくれたご両親の愛情をひしひしと感じました。3人のお孫さんが増え、今後益々賑やかになるS様邸。沢山の思い出がこの部屋からも生まれ楽しい時間が過ごせますように。皆様の笑顔を励みにこれからもがんばります。ありがとうございました。